

都営住宅募集における抽せん方法の変更について

抽せん方法を変更します

平成 30 年 5 月募集から「抽せん方式」による募集の抽せん方法を変更します。

新しい抽せん方法は「一連番号方式」といい、少ない抽せん回数ですべての申込地区に共通の「当せん順位」を決める方法で、公平かつ時間短縮に最適なため、多くの自治体で公営住宅の抽せん会などに採用している一般的な方法です。

これまでは、募集戸数と同じ回数抽せん器を操作していたため、すべての抽せんが終わるまで非常に時間がかかり、見学の方を長くお待たせしていました。新しい抽せん方法では、抽せん器の操作回数を減らすことができるため、抽せん会の時間が短縮され、抽せん結果を早く掲示できるようになります。

新しい抽せん方法（一連番号方式）のしくみ

- 申込地区全体のなかで最大の抽せん番号を対象に、その数字を桁に分けて、抽せん器を使って桁ごとに数字の順位をつけるための抽せんを行います。抽せん結果に基づき、各桁の数字を順番に組み合わせ、すべての抽せん番号の当せん順位を決めます。
- 各申込地区の当せん番号は、募集戸数が 1 戸の地区では、その地区の最大の抽せん番号以下で当せん順位が最も上位の番号です。募集戸数が 2 戸以上の地区では、当せん順位が上位のものから順番に募集戸数分の番号です。

① 申込地区全体のなかで最大の抽せん番号が 299 の場合

手順 1 抽せん番号各桁の数字の優先順位を抽せん決めてます。

百の桁 十の桁 一の桁
2 9 9

- 抽せん器を使い、桁ごとに数字の優先順位を決めるための抽せんをします。
- はじめに、百の桁が「2」のため、「0・1・2」の 3 個の抽せん玉を抽せん器に入れて玉をひとつずつ出していきます。
- 同様に、十の桁と一の桁は「0 から 9」まで 10 個の抽せん玉を抽せん器に入れて抽せんを行います。
- 百の桁の抽せん、玉が「2→0→1」、十の桁で「6→5→7→0→1→8→3→2→9→4」、一の桁で「8→4→9→6→5→0→1→7→2→3」の順で出た場合、各桁の優先順位は右表のとおりとなります。
- この例の場合、百の桁から一の桁まで、抽せん器の操作は合計 23 回で終了します。

【抽せん結果の例】

優先順位 (玉の出 きた順番)	百の桁	十の桁	一の桁
1 位	2	6	8
2 位	0	5	4
3 位	1	7	9
4 位	—	0	6
5 位	—	1	5
6 位	—	8	0
7 位	—	3	1
8 位	—	2	7
9 位	—	9	2
10 位	—	4	3

手順2 抽せん結果（優先順位）に基づき、数字を組み合わせて当せん順位を決めます

組み合わせの法則：上の桁を優先して順位順に数字を移動する。

下の桁は上の桁の数字が一巡したときに順位をひとつ移動する。

●当せん順位1位「268」

すべての桁の優先順位1位の数字の組み合わせ

百の桁	十の桁	一の桁
2	6	8
0	5	4
1	7	9
-	0	6
-	1	5
-	8	0
-	3	1
-	2	7
-	9	2
-	4	3

●当せん順位2位「068」

百の桁のみ、優先順位2位に移動

百の桁	十の桁	一の桁
2	6	8
0	5	4
1	7	9
-	0	6
-	1	5
-	8	0
-	3	1
-	2	7
-	9	2
-	4	3

●当せん順位3位「168」

百の桁のみ、優先順位3位に移動

百の桁	十の桁	一の桁
2	6	8
0	5	4
1	7	9
-	0	6
-	1	5
-	8	0
-	3	1
-	2	7
-	9	2
-	4	3

●当せん順位4位「258」

百の桁は1位に戻り、十の桁が2位に移動、一の桁は1位のまま

百の桁	十の桁	一の桁
2	6	8
0	5	4
1	7	9
-	0	6
-	1	5
-	8	0
-	3	1
-	2	7
-	9	2
-	4	3

●当せん順位5位「058」

百の桁のみ、優先順位2位に移動

百の桁	十の桁	一の桁
2	6	8
0	5	4
1	7	9
-	0	6
-	1	5
-	8	0
-	3	1
-	2	7
-	9	2
-	4	3

●当せん順位6位「158」

百の桁のみ、優先順位3位に移動

百の桁	十の桁	一の桁
2	6	8
0	5	4
1	7	9
-	0	6
-	1	5
-	8	0
-	3	1
-	2	7
-	9	2
-	4	3

・・・途中省略

●当せん順位298位「243」

百の桁は1位、十の桁と一の桁は10位

百の桁	十の桁	一の桁
2	6	8
0	5	4
1	7	9
-	0	6
-	1	5
-	8	0
-	3	1
-	2	7
-	9	2
-	4	3

●当せん順位299位「043」

百の桁のみ、優先順位2位に移動

百の桁	十の桁	一の桁
2	6	8
0	5	4
1	7	9
-	0	6
-	1	5
-	8	0
-	3	1
-	2	7
-	9	2
-	4	3

●当せん順位300位「143」

すべての桁の優先順位最下位の数字の組み合わせ

百の桁	十の桁	一の桁
2	6	8
0	5	4
1	7	9
-	0	6
-	1	5
-	8	0
-	3	1
-	2	7
-	9	2
-	4	3

手順2による数字の組み合わせで、当せん順位順の番号は下表のようになります。

当せん順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	・・・	298位	299位	300位
番号	268	068	168	258	058	158	278	・・・	243	043	143

